



インターナショナル・ダンス・デイ 2021
フリーデマン・フォーゲル（ドイツ）

すべては動くことから始まります。誰もが生まれながらに備える“動く”という力を、磨き上げ、交感のために昇華させたものこそ舞踊です。舞踊にとって、卓越したテクニックは観る人に深い印象を与える大切なものですが、肝心なのは舞踊家がそれぞれの動きでなにを伝えるかです。

踊るとき、私たちは常に、忘れがたい瞬間を生み出すことを切に願います。ジャンルによらず、舞踊家であればあの瞬間を求めるはずです。去年は、不意に劇場が閉鎖され、フェスティバルが中止となって、私たちは人前で踊ることができなくなり、舞踊界は静まりかえりました。身体の接触がない。公演がない。観客がない。舞踊関係者たちがこれほど結束して自分たちの^{レゾンデートル}存在理由を探そうとしたことが、近來あったでしょうか。

私たちは確実に、かけがえのないものを奪われました。そして奪われることで、この舞踊という営みがいかに生命力にあふれ、ひろく社会にとって必要であるかをあらためて認識しました。舞踊家は身体能力ばかりを評価されがちです。たとえその力が強靱な精神に由来するものであったとしても。私たちの持つしなやかな肉体と精神こそ、この危機的状況にあっても踊り続け、新しい作品を生み出し、人々に力を与えるための助けになるのだと私は信じます。

翻訳：後藤 絢子

Translation: Goto Ayako

